

## 令和5年度地域づくり交付金事業 事業報告書

### 1 コミュニティ会議本部事業

(単位：円)

担当部会	事業名	事業内容	事業費
総務企画 部会	① 広聴・広報活動事業	花南地区のまちづくりやコミュニティ会議の活動に理解と関心を高めるため「花南コミュニティだより」を第210号から第232号まで1/1を除く毎月2回、合計23回発行。発行様式は、4/1号を2色刷り4ページで外注印刷。他は1色2ページを自営印刷し花南地区全世帯へ配布した。	199,375
	② まちづくり研修事業 (6月21日) 参加者27人	地域特性を生かしたまちづくりや取り組みについて学ぶため、秋田県横手市を視察訪問した。国の重要伝統的建造物群保存区である増田町では現地ガイドさんから、説明を受けながら施設を巡り、建物の保存や郷土文化の伝承の大切さについて理解を深めた。また、地域の特徴をまちづくりに生かした観光と郷土文化の発信について学んだ。	100,000
	③ 第10回花南寄席 (10月1日) 入場者77人 スタッフ17人	花南寄席は2014年から10年連続で開催し花南地区コミュニティ会議の看板事業となった。今回は花巻初登場の漫才コンビ「ニードル」が会場を温め、お馴染み六華亭遊花師匠が円熟味のある東北弁落語を披露。会場は笑顔と笑い声でいっぱいとなり来場者から大好評であった。	368,275
	④ 南城中学校講演会事業 (7月29日) 生徒238人 教職員10人 スタッフ10人	元サッカー日本代表キャプテン、現在は市内の高校でテクニカルアドバイザーを務める柱谷哲二さんを招き講演会を開催。夢や大好きなことを目標にすることの大切さを説かれた。また、練習や技術向上だけでは強くなれず、心の持ち方や日頃からの行いが運を引き寄せ試合の勝敗にかかわることを説明され、心も体も成長著しい中学生にロールモデルを示された。	4,321

(単位：円)

担当部会	事業名	事業内容	事業費
総務企画部会	⑤ 富士大学紫陵祭 (10月14、15日)	包括連携に関する協定を結ぶ富士大学の学園祭へ4年ぶりに地域コラボ企画としてブース出店し、女子ソフトボール部の学生と協働で運営した。無料アトラクションとニュースポーツを行い家族連れや子どもたちに大人気となり多くの来場者がコミュニティ会議のブースで楽しんだ。	41,187
	⑥ かなん映画会 「銀河鉄道の父」 (1月17、20日) (3月6日) 延べ200人	映画ロケ地の花南で無料上映会を開催。来場者は地元で撮影されたシーンや風景に注目しながら熱心に鑑賞し、映画で描かれた家族愛に会場は感動に包み込まれた。また、能登半島地震災害義援金の呼びかけに多くの善意が寄せられ、お預かりした義援金は日本赤十字社岩手県支部花巻市地区へ届けた。	64,210
	⑦ 中止した事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人材育成事業</li> <li>・ 国際交流事業</li> <li>・ 花南の明日を語る懇談会</li> </ul>	
生活環境部会	① 交通安全・防犯推進事業	花南地区有志の家庭や事業所などで構成されている児童生徒の見守りボランティア「こども110番の家」を支援するため、のぼり旗やポールの更新を行った。また、桜町駐在所と連携し交通安全・防犯の広報を自治会に配布し意識向上を図った。	7,500
	② ボランティア支援事業	南城小学校児童のボランティア活動を支援するため花南振興センターにプルタブ回収ボックスを設置しプルタブ約30kgを提供した。また、地域の除雪ボランティア活動を支援するため、小型除雪機7台の貸し出し及び保険加入、点検整備等を実施した。	193,708

(単位：円)

担当部会	事業名	事業内容	事業費
生活環境部会	③生活環境美化活動 (7月18日) 生徒24人 教職員4人 地域住民4人	南城中学校南側バイパス下トンネルの落書きを南城中ボランティア生徒と協働で落書き消し作業を実施。生徒たちは地域貢献活動を通じて、落書きの悪性や環境美化の大切さを学び、作業をやり遂げた達成感と自分たちが暮らす地域への愛着が増した様子であった。	14,870
	④道路整備等事業要望の現地調査 (5月25日) 参加者13人	自治会から要望された地域づくり交付金事業の道路整備等6箇所の現地調査を本部役員会と合同で行い、緊急性・必要性を協議し採択する事業を選定した。	0
	⑤中止した事業	・自衛消防訓練、救命法体験会	
保健福祉部会	①世代間交流 (8月1日) 児童82人 花南老連、食改協等43人	花南老連、花南食改協、地域の皆さんに協力をいただき、児童・親・祖父母世代の交流会を4年ぶりに開催。昔遊びを通じ世代を超えて交流を深め、楽しいひと時と心地よい汗を流した。	33,328
	②認知症研修会 (11月6日) 参加者35人	民生委員児童委員と行政区長、自治会役員を対象に認知症研修会を開催。花南地区の介護施設のケアマネージャーを講師に迎え、認知症高齢者が利用できる介護サービスや介護施設、福祉器具レンタルなどについて講義された。また、長谷川式認知症スケール(テスト)を会場で模擬テストするなど認知症について理解を深めた。	1,782
	③かなん子どもひろば支援 (毎月第3火曜日開設)	子育てのアドバイスや、親どうしの交流の場として、花南地区在住の保育士や教員経験者、民生委員児童委員など有志の皆さんが開設している「かなん子どもひろば」が4年ぶりに再開したことから、文具・食材に係る経費を支援した。	659

(単位：円)

担当部会	事業名	事業内容	事業費
保健福祉 部会	④花南シニア井戸端ひろば (11月19日) 参加者27人	高齢者や地域住民が気軽に集える機会として開催。映画観賞会とお茶っこタイムを組み合わせて行い、大きな画面で映画を楽しみ何気ない会話でホッとする時間をゆっくりと過ごした。	4,776
	⑤親子料理教室 (12月24日) 5組11人参加	料理を通じて食への関心と食育の大切さを学び、親子のふれあいを深めるため4年ぶりに開催。講師は元花巻市地域おこし協力隊員が務め、花巻産のアイガモ農法のお米と野菜を食材に親子で協力しながら自然な風味の料理に挑戦した。	19,370
	⑥AED装置整備 (8月8日)	振興センター設置のAED装置を使用したことから電極パッドの交換を実施し不測の事態に備えた。	11,550
	⑦保健推進事業	振興センター利用者や行事に参加者する方が体調不良を訴えた場合に備え、振興センターに自動血圧計を配備した。	5,266
地域振興 部会	①地域交流事業 (5月27日) 自治会8チーム参加	地域交流事業として「第11回自治会対抗グラウンドゴルフ大会」を開催した。各地区代表の選手はハツラツとしたプレーで大会を盛り上げ、参加した選手や応援の皆さん、運営スタッフはスポーツを通じて交流を深めた。	52,688
	②新花巻発見探訪ツアー (8月23日) 参加者18人	今年度は石鳥谷地域を選定。八幡田んぼアートの視察では八幡まちづくり協議会さんから丁寧な説明をいただき田んぼアートにかける思いの深さに感動した。また、リニューアルオープンした直後の道の駅石鳥谷を訪れ、新装された南部杜氏伝承館や石鳥谷歴史民族資料館を見学し郷土文化等を学んだ。	66,515

(単位：円)

担当部会	事業名	事業内容	事業費
地域振興部会	③雨ニモマケズ詩碑周辺整備 (7月26日～10月7日)	全国から訪れる賢治さんファンをきれいなお花でお迎えするため、宮沢賢治没後90年にあわせて賢治文学散歩道にプランター100個を設置。ベゴニアの花苗植栽は近隣の保育園児15人と協力して行い、その様子は多くのメディアから取材を受け広く報道された。また、プランターへの水やりは専門委員の輪番制で実施した。	142,981
	④郷土歴史講座 (2月21日) 参加者37人	郷土歴史に造詣が深い花巻市生涯学習部職員を講師に、花南地区の三古道を中心に郷土歴史とその氏族について学んだ。受講者の熱心に聴講し質問する姿勢から、自分たちが住むまちの歴史や自身のルーツに大いに関心があることが伺えた。	3,974
	⑤景勝地管理 剪定作業 (3月28日) 下草刈り作業 (6月、8月)	桜並木整備事業で植栽した南城中学校南側バイパス法面のシダレザクラの剪定作業を外部委託。また、不動地内の桜並木環境整備のため下草刈りを実施した。	99,000
	⑥中止した事業	地域振興事業	
教育文化部会	①宮沢賢治に関する事業 (6月27日) 参加者22人	賢治さんについて理解を深めるため「第7回賢治さんゆかりの地を歩く」を実施。今年度は盛岡市の中心部をまち歩きし、賢治さんの青春時代について理解を深めた。特に岩手大学農学部農業研究資料館に保管されている賢治さんが実際に採った石の展示には、参加者も驚き感動しているようであった。	15,520
	②教育講演会 (11月24日)	南城小学校高学年児童を対象に情報メディア講演会を実施。岩手県立生涯学習センターの出前講座を活用しネット依存やSNS等、情報メディアとの上手な付き合い方を学んだ。	0

(単位：円)

担当部会	事業名	事業内容	事業費
	③自然観察会 5月17日：23人 6月10日：33人	季節の植物や豊かな自然を観察するため自然観察会を2回開催。第1回は遠野市「藤沢の滝」、第2回は宮城県石巻市「牡鹿半島」を訪れた。牡鹿半島は人気が高ことから様々な方が参加しやすい土曜日に実施した。	264,982
	④親子工作教室 (12月23日) 7組18人参加	長期休暇の工作を支援するため親子工作教室を4年ぶりに開催。花巻市の環境マイスターを講師に、自然の木の実や木材を使いクリスマスツリーなど親子が協力して世界に一つだけの作品を完成させた。	8,660
	⑤地区民ふれあい登山 (7月23日) 参加者25人	地域の交流と健康増進を目的に人気の高い八幡平・畚岳の登山を実施。講師は教育文化部会の専門委員が務めた。夏山シーズンの日曜日であったため多くの登山者と出会い交流が図れた。	105,840
	⑥子ども習字教室 (1月10、11日) 参加者12人	書道の練習を通じて児童の学習意欲を高めるため「子ども習字教室」を開催。児童たちは筆使いから習い練習を重ね、好きな文字を色紙に書き、長半紙に見事な書初めを完成させた。	32,209
	⑦花南地区文化祭 11月11日 約50人来場 11月12日 約300人来場	芸術の秋恒例の「第42回花南地区文化祭」を実行委員会により開催。自治会と振興センター利用者による作品展示のほか、成田神楽と上根子神楽、地元の郷土芸能クラブ、南城中学校復興南中ソーランが出演した郷土芸能鑑賞会と、自治会や幼保育園児、振興センター利用者が出演したステージ発表会を開催した。4年ぶりの文化祭に数多くの観客が来場し、熱心に鑑賞したり近況を伝えあったり等、賑やかな秋の祭典となった。	134,816

(単位：円)

担当部会	事業名	事業内容	事業費
教育文化 部会	⑧花南ふれあい 学級 (7月19日～ 1月17日)	地域住民の生涯学習講座として「花南ふれあい学級」を4年ぶりに開講した。7月から1月にかけて全7回の講義を行い、延べ90人が受講した。その中で7回全て受講した方は3人であった。様々な学びを通じて健康で心豊かな生活と社会参加の促進を行うとともに、受講者どうしの交流を深めた。	110,582
	中止した事業	・児童生徒の部屋「自学館」	
本部事業合計			2,107,944

2 地域づくり交付金事業（地域づくり支援事業）

（単位：円）

事業名	実施地区名・団体名	交付額
道路整備	道路舗装(100%支援) 3路線 諏訪地内2路線、山の神地内1路線	2,992,000
道路施設整備	側溝整備(100%支援) 1箇所 桜町一	990,000
生活環境整備	①街路灯整備(100%支援) 新設6灯、修繕12灯、移設3灯 諏訪(新設2、移設1)、桜町一(新設3、修繕1)、 桜町二(修繕2)、桜町四(新設1)、 十二丁目(修繕1)、成田(移設2、修繕8)	1,179,000
	②河川整備(100%支援) 1箇所 桜町一	429,000
自治公民館整備	自治公民館の修繕・備品購入(50%支援) 桜町一(会議用机・イス、コピー機)、 新仲(冷蔵庫)、横町(会議用机・イス) 中村(エアコン)、山の神(屋根塗装、網戸修繕) 大谷地(屋根塗装)	981,000
防災事業	諏訪(自主防災ベスト) 山の神(被災地研修)	392,000
団体活動支援	花南教育振興協議会(事業支援) 花南地区自治公民館連絡協議会(事業支援) 下の畑保存会(花壇柵修繕)	137,000
合 計		7,100,000

令和5年度地域づくり交付金事業 収支決算書

1 収入

(単位：円)

項目	当初 予算額	現計予算額① (3/16補正)	決算額②	比較増減 ②-①	備考
交付金	11,720,000	11,720,000	11,720,000	0	市地域づくり交付金
繰越金	1,000	1,000	102	△ 898	前年度繰越金
雑入	1,000	1,000	1,051	51	預金利息 51円 寄付金 1,000円
合計	11,722,000	11,722,000	11,721,153	△ 847	

2 支出

(単位：円)

項目	当初予算額	現計予算額① (3/16補正)	決算額②	比較増減 ②-①	備考
(1) 事務費	2,395,000	2,504,000	2,513,068	9,068	
① 報酬	360,000	360,000	360,000	0	
② 日当	100,000	100,000	99,000	△ 1,000	
③ 賃金	1,235,000	1,278,000	1,342,711	64,711	
④ 需用費	500,000	416,000	374,211	△ 41,789	
⑤ 役務費	200,000	170,000	162,356	△ 7,644	
⑥ 備品費	0	180,000	174,790	△ 5,210	
(2) 事業費	9,327,000	9,218,000	9,207,944	△ 10,056	
① 本部事業	2,405,000	2,122,000	2,107,944	△ 14,056	
② 地域づくり交付金事業 (地域づくり支援事業)	6,922,000	7,096,000	7,100,000	4,000	
合計	11,722,000	11,722,000	11,721,012		

(収入) 11,721,153円 - (支出) 11,721,012円 = 141円 (次年度へ繰越)